

第7章 街づくり 第6節 下水道

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標値を毎年達成しており、東西クリーンセンターの地元周辺における下水道整備については、一定の成果があげられていると考える。今後も廃棄物処理施設の必要性を理解し、市政にご協力頂いている周辺地区住民の生活環境の向上等が図られるよう努める。	H28年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	68,164	67,868	①下水管布設延長	下水管布設総延長	目標設定の考え方・根拠								
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	地元地区環境整備保全委員会と協議を行い、下水管の布設箇所を決定しているため、下水管布設延長を指標とする。											
	清掃施設周辺整備事業	下水道法	67,218	60,755	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合			H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		東部クリーンセンター及び西部クリーンセンターの建設に伴い、廃棄物処理施設の必要性を理解し、ご協力頂いている周辺地区への地域還元として、住民の意向等を踏まえながら清掃施設周辺整備事業を実施しており、その一環として、下水道整備を進めているところである。	0.64人	0.00人			9,390m	9,434.9m							
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析										
H10年度～	0.32人	0.00人	9,634m	9,693.5m											
	2,744千円	0.00人	H29年度目標		目標達成済										
			10,033m												
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成28年度目標を90%以上達成しており、第3期市街化調整区域下水道整備事業(整備面積約125.9ha)に係る整備率も57.1%となり成果はあがっている。	H28年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	896,844	825,691	①汚水管の整備面積	整備面積	目標設定の考え方・根拠								
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	汚水管の整備面積が拡大することで目標達成の成果が把握できるので整備面積を指標とする。											
	下水道管渠布設事業	下水道法、都市計画法、環境基本法	1,115,479	1,116,822	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合			H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		市街化区域の下水道整備は、平成14年度で完了し、引続き市街化調整区域の整備事業を平成15年度より開始した。平成24年度をもって第2期市街化調整区域の下水道整備が概ね完了し、引続き平成27年度から第3期市街化調整区域の面整備事業を実施している。下水道未整備区域の汚水管整備を進め、生活環境及び公共用水域の水質を改善し、快適な生活環境を構築する。	9.94人	0.00人			18ha	19ha							
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析										
S32年度～	11.27人	0.00人	21ha	19.1ha											
	96,640千円	0.00人	H29年度目標		目標達成済										
			23.7ha												
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果を上げていると考えている。平成29年度は「緊急地震対策事業」の最終年度となるため、今後も予定箇所の耐震化工事を進めていきたい。	H28年度に改善した点	有	有		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	270,709	222,713	①特殊マンホールの地震対策	完了箇所数	目標設定の考え方・根拠								
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	完了箇所数が増加することで目標達成の成果が把握できるので完了箇所数を指標とする。											
	下水道地震対策事業	下水道法、都市計画法、下水道総合地震対策実施要綱	201,983	213,333	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合			H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		下水道は重要なライフラインであり、震災等により機能が停止した場合、排水不能や損壊による道路陥没が原因の交通事故や渋滞で物資供給が停滞するなど市民生活に甚大な影響を及ぼすことから、既存施設の地震対策を実施する。緊急輸送路や軌道下に埋設されている管渠や特殊マンホール(現場の状況に合わせて建造された、標準と異なる構造のマンホール)等について、補強・再構築工事を実施する。	2.21人	0.00人			11箇所	9箇所							
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析										
H21年度～	19,139千円	0.00人	9箇所	9箇所											
	2,48人	0.00人	H29年度目標		目標達成済										
	21,266千円	0.00人	12箇所												
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	雨水管等の整備面積の拡大及び浸透井整備の完了箇所数が増加することで目標達成の成果が把握できるので指標とする。	H28年度に改善した点	有	有		
		■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	20,649	21,101	①雨水管等整備	①年度別整備面積 ②年度別設置箇所数	目標設定の考え方・根拠								
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	雨水管等の整備面積の拡大及び浸透井整備の完了箇所数が増加することで目標達成の成果が把握できるので指標とする。											
	雨水対策事業	下水道法、都市計画法	10,021	9,295	実績	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合			H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		雨水を速やかに排除し、浸水・冠水等を防ぐ。 ①集中豪雨時の浸水・冠水被害発生地域の把握と状況調査を実施する。②調査結果に基づき、雨水対策地域の把握及び方法の検討を行う。③冠水被害が頻繁に発生している地区の雨水整備を実施する。④緊急に雨水整備が必要とされる地区における暫定措置として、雨水浸透井を築造する。	0.70人	0.00人			0	0							
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析										
S32年度～	6,062千円	0.00人	0	0.1											
	1.60人	0.00人	H29年度目標		目標達成済										
	13,720千円	0.00人	0												

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト(千円)	活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	改善要望等には、概ね対応できた。これは外部情報が入った際、直ちに現地確認を行い直営または修繕費による対応を迅速に行ったためである。	H28年度に改善した点 ①旧町地区における下水道本管の長寿命化計画に併せて、テレビカメラによる取付管の損傷状況を確認し診断を実施したことにより、陥没事故等を未然に防止した。②下水道のイメージアップを図るため、下水道広報ブラットホーム主催のマンホールカード第1弾(平成28年4月)より参加した。平成29年1月に開催されたマンホールサミット埼玉における人気投票において総合1位を獲得した。	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	425,472	331,661	①1年間に清掃した管渠延長 ②1年間に取替えたマンホール蓋の個数 ③1年間に実施したテレビカメラ調査箇所	改善要望対応件数 (目標値=要望件数、実績=完了総数)	マンホール蓋のガタツキ、振動、騒音、下水道管の詰まり、臭気、溢れ等。 (目標値=要望件数、実績=完了総数)						
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27年度目標			H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	下水道法	636,529	510,979	H28実績	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	下水道は、市民の安全で快適な生活を確保するために重要なライフラインである。適切な維持管理を実施し、十分にその機能を発揮させると共に継続的に利用できる環境を整える。	22.10人	0.00人	151	151	H28目標値が未達成の理由・分析							
①土砂及び油脂の堆積による流下能力の低下を防ぐための下水道管渠清掃。 ②老朽化している施設の更新。 ③下水道施設から発生する臭気対策。不明管・侵入水等のテレビカメラを使用した原因調査。 ④降雨災害防止のための対策及び巡視。 ⑤市内ポンプ場・調整池等の適切な運転管理、監視・安全管理の徹底。	191,386千円	0.00人	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
期間	S33年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H28目標値が未達成の理由・分析		評価者	下水道維持課長 吉田 進一				
		22.40人	0.00人	① 6603m ② 661個 ③ 1212m	100								
		192,080千円	0.00人										
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	改善要望等には、概ね対応できた。これは外部情報が入った際、直ちに現地確認を行い直営または修繕費による対応を迅速に行ったためである。また、平成27年度から委託費が減少したことを受け、直営による定期的なスクリーン点検、清掃作業を行い、未然に事故を防止した。	H28年度に改善した点 昨年に引き続き、しゅんせつ土の含水率を下げるヤードを設置し、受入単価の低い処分地に搬出した。仮置き土の処分も進めることができた。	有	有
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	27,309	26,783	①1年間にしゅんせつした堆積土の量 ②1年間に除草した面積 ③	改善要望対応件数	除草要請、ゴミ撤去等。 (目標値=要望総数、実績=完了総数)						
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27年度目標			H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	下水道法	23,093	32,314	H28実績	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	浸水の無い快適な都市環境を保持し、市民の安全で快適な生活を守るため、都市下水道及び調整池を適切に管理する。	4.05人	0.00人	2	1	H28目標値が未達成の理由・分析							
①堆積土のしゅんせつ ②除草、樹木の剪定 ③施設の補修及び改良工事 ④降雨災害防止のための対策及び巡回	35,073千円	0.00人	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
期間	S45年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H28目標値が未達成の理由・分析		評価者	下水道維持課長 吉田 進一				
		4.30人	0.00人	① 370㎡ ② 68410㎡ ③	3	洪水調整越流堰の改修要望(2箇所)が地元より出てきたが、年度末であったため予算措置が間に合わず1箇所施工できなかった。							
		36,873千円	0.00人										
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	現年度分収納率については、目標値であった98%を維持できた。理由は市民の目線に立った丁寧な説明や説得と、第一環境による訪問徴収の効果があったと考えられる。次年度以降も、引き続き高い水準を維持できるよう努力する。	H28年度に改善した点 第一環境の訪問による、特別催告書の手渡しと現地での徴収を行った。	無	無
	-	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	519	333	①収入済額 ②口座振替率 ③	現年度分収納率	収入済額/調定額(収入すべき額)						
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27年度目標			H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	都市計画法第75条、所沢都市計画下水道事業受益者負担に関する条例	1503	1,081	H28実績	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	下水道の整備により利益を受ける人に建設費の一部の負担を求めることにより、公共下水道の整備を推進する。	2.15人	0.00人	100.00%	99.31%	H28目標値が未達成の理由・分析							
・公共下水道整備地区の土地所有者等に対し、事業説明会、申告受付を経て、対象となる土地の面積に単価を乗じて負担額を決定する。 ・市街化調整区域の土地の面積に乗じる単価は、平成27年度より1㎡あたり1,030円となった。 ・納付方法は、5年間の分割納付が基本であるが、希望により一括納付もできる。	18,619千円	0.00人	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
期間	S44年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H28目標値が未達成の理由・分析		評価者	下水道維持課長 吉田 進一				
		2.15人	0.00人	①116,171,100円 (H28年度調定分) ②49.24% ③	98.00%	目標達成済							
		18,436千円	0.00人		98.00%								
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成28年度に詳細設計業務委託を発注し、平成29年度から開始を予定している改築工事、設計延長890mについて完成した。	H28年度に改善した点 現場は住宅地のため、交通に支障のないような改築工法を選定し、またコスト削減に努めた。	有	有
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	22,649	0	①設計委託1件 ② ③	カメラ調査延長(平成27年度) 詳細設計委託(平成28年度) 改築延長(平成29年度)	緊急度Ⅰ・Ⅱの改築延長 実施延長/計画延長						
	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	H27年度目標			H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析					
	下水道法	20,000	19,656	H28実績	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析							
	早期に下水道事業を開始した所沢地区の管路施設が耐用年数を迎え、老朽化による損傷が増加しているため、事故によるサービス低下を防止する。	0.20人	0.00人	12.5km	0km	H28目標値が未達成の理由・分析							
・本管の布設替えまたは、更生 ・取付管の布設替えまたは、更生 ・マンホール蓋の取替	1,732千円	0.00人	H28年度目標	H28実績	H28目標値が未達成の理由・分析								
期間	H23年度～	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H28目標値が未達成の理由・分析		評価者	下水道維持課長 吉田 進一				
		0.50人	0.00人	①設計委託1件 ② ③	1件	目標達成済							
		4,288千円	0.00人		183m								